



学校だより

12月号

横浜市立不動丸小学校 令和3年11月30日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/fudomaru/>

地域とともに学ぶ学校を目指して

校長 山下 謙一郎

今年も残すところ一か月となりました。月日の経つのは早いもので、私が不動丸小に着任して、9か月目になります。不動丸小学校のこと、子どもたちのこと、保護者や地域の方々のことを一生懸命知ろうと努力していますが、まだまだ知らないことがいっぱいあるのが実情です。しかし、誰もが不動丸小学校のことを大事に考えていることだけは確信しています。今後も、どうぞ不動丸小学校を温かく見守っていただきますようご協力をお願いします。

さて、12月は生活科・総合的な学習の時間の取組について発表する「不動丸フェスタウィーク」を行います。今年度は、体育館を会場としてクラスごとに発表を行い、同じクラスの保護者の皆様が同時に参観できる形式をとらせていただきました。例年とは異なりますが、どうかご理解ご協力の程よろしくをお願いします。

その生活科・総合的な学習の時間の取組についてですが、どのクラスも創造的かつ個性的な取組をしています。言い換えれば、そのクラスならではの活動を行っています。パラリンピックをテーマに取り組んでいるクラスもあれば、中堀川について研究しているクラスもあり、さらには地産地消を意識して自分たちで野菜づくりを行っているクラスもあります。担任の先生たちは、子どもたちの興味・関心を上手に引き出し、学びとして成立するようにコーディネートしながら、学級独自の課題解決学習を構築しています。取組の様子はホームページでも時折紹介させていただいていますが、各活動に欠かせなくなっているのが、様々な立場の地域の方々の存在です。

子どもたちは活動の過程で、多くの壁にぶつかり解決に向かって話し合いを重ねますが、どうしても自分たちだけでは太刀打ちできないことも出てきます。そんな時、地域の方々に活動に力を貸していただくことがあります。あるクラスでは、地域防災について自治会を中心とした防災委員の皆様体験活動を通して教えていただきました。また、あるクラスでは、川に住む生き物について水辺愛護会の方々からお話やアドバイスをいただきました。子どもたちは、自分たちの住む地域にこんな素晴らしい人が、こんな頼もしい人がいるんだ、と嬉しそうに目を輝かせていました。一方で、学校がお願いして時間をつくって来ていただいた地域の皆様も、口をそろえて「子どもたちと一緒に活動ができて嬉しかったです。」と、帰り際に感想を述べてくださいます。地域の中の学校、みんなで学校を盛り上げていきたいというお気持ちに、私はいつも感動とありがたさを覚えます。

学校の登下校や放課後の公園など、この活動で知り合った地域の方に「こんにちは」「この前はありがとうございました」と子どもたちが声をかけることも多くなってきたという話も聞くようになりました。まちとともに歩む不動丸小学校をこれからもどうぞよろしくをお願いします。